



# ぴよんちゃんひろば通信



福崎町社会福祉協議会  
令和2年10月号

家族と一緒に家で過ごすのは通常は朝と夜です。朝は寝ていた状態から目覚める時間帯ですが、脳がしっかりと目覚めるには一時間半はかかると言われています。脳が十分に目覚めていないので、大人も子どもも頑張りがきかず甘えが出ます。それでも頑張って起きたお母さん。心にゆとりが持てないことがあったとしても当たり前。

夜は夜で体が疲れているので頑張りがききません。だらしなくなるし甘えも出ます。「家庭とはそういうものだ」と家族みんなで割り切った方が楽ですよ。でも「家庭でちゃんとしつけなさい」というプレッシャーから、毎日の家庭生活のメイン事業である食事・排泄・着替え・園や学校の準備や宿題・就寝などで親子ともに振り回されることになります。

子どもは親に対して甘えん坊になるのが当たり前の存在です。子どもは赤ちゃん時代、泣くとお母さんやお父さんに抱っこしてもらいあやしてもらうことで、親のことを大好きになっていきますし、自分の気持ちを親はわかってくれるだろうと期待して育ちます。だから先生たちよりもずっとずっと親に甘えるのです。嫌なことはしたくないからと「イヤ」と拒否する度合いは親の方が大きいとも言えるのです。

そんな親の一番の役割は、我が子に腹を立てたり叱ったりしてはいても、あなたのことが「大好きだ」という思いを子どもたちに伝えることです。忙しいときはせめて寝る前に「大好き」と子どもたちをハグしてみましょう。そして、食事と睡眠を大切に！子どもが元気であればオッケーと割り切りましょう。ただ、小さい子どもたちは、お母さんのことが大好きなのに、とくに夕方家事に忙しくしているお母さんを困らせてしまいます。また、園や学校でがんばってきた兄弟姉妹たちは家に帰るとほっとしてタガが外れてしまいます。放課後は通常は、気の合う相手と好きなことをして遊ぶ時間です。一昔前は、日が暮れるまで外で遊び晩御飯の時間に帰っていました。今、子育て支援の場で子どもたちは兄弟姉妹のように育ち合っています。これから大きくなっていくときも、そんな関係をさらに深めていき、ご近所同士協力して子どもたちが(´▽`)ホッとして一緒に遊ぶ仲間の関係を続けて行けたらいいですね。夕方を気持ちよく過ごすことで家庭で手こずることが減ると、親子とも家庭でくつろげるのではないのでしょうか。10月もお待ちしています。

(近藤直子先生の『子育ては誰もが“若葉マーク”』を参考にしました)

**トランポリンと森のひろば** (第2体育館とスポーツ公園) 10:00～ 予約なし

\* 日時; 10月2日、16日、23日、30日(金) \* 準備; お茶、タオル、着替えなど

(新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、実施できない可能性もありますこと、ご了承ください。)

**芋ほり** (八千種学童農園と春日ふれあい会館) 10:00～ (20組まで)

\* 日時; 10月9日(金) \* 準備; お茶、タオル、着替え、スコップ(あれば)、持ち帰り用の袋、150円、お弁当(芋ほりの後、春日研修センターに移動してお弁当を食べます。)

\* 芋ほりだけの参加(八千種学童農園)もOKです。

\* 雨天の場合は、10時30分に春日ふれあい会館(福崎町八千種 3718-1 ☎2-5805)に来てください。

\* 申し込み・当日のキャンセルは、社会福祉協議会 ☎23-0300 をお願いします。

**親子クッキングは、今年度は、残念ながら実施できません。ご了承ください。**